

5	課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
	14104004	植物のオキシダティブーストと生体防御ネットワークの分子生理学的解明と応用	道家 紀志 (名古屋大学・大学院生命農学研究科・教授)	A
<p>(意見等)</p> <p>オキシダティブーストは、本研究代表者らが世界に先駆けて発見した病原菌に対する植物の動的な防御応答の始動と統御に関する緊急シグナル反応である。本研究は、この研究成果を基盤として計画されたもので、準備がかなり進んでいたため、期待通りの成果が得られている。オキシダティブーストの分子基盤と発現制御機構等を明らかにするとともに、それらの成果に基づいてジャガイモの疫病耐性品種を作出するなど、ほぼ期待通りの研究の発展が得られている。また、今回の研究成果はさらなる新たな研究の発展を期待させるものである。</p>				
6	課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
	13853009	汎用型不斉還元酵素モジュールの開発とキラルアルコール生産システムへの応用	清水 昌 (京都大学・大学院農学研究科・教授)	A
<p>(意見等)</p> <p>不斉還元酵素を用いて医薬品製造等において需要の高まっているキラル化合物を生産するシステムを開発することを目的とした本研究において、基質特異性の異なる多種のカルボニル還元酵素を新たに見だし、遺伝子のクローニング、高い生産性を示す組換え体の育種、酸化還元補酵素遺伝子との共発現、補酵素再生系との共役系の構築等多くの成果を挙げていることは評価できる。</p> <p>ただ、中間評価の際に指摘された他のプロジェクトとの棲み分けに関して、研究成果の発表の記述に際して、留意することが望ましい。</p>				